

厚生労働省省内事業仕分け (財)ヒューマンサイエンス振興財団  
仕分け人(6名)の評決結果

1-① 事務・事業(政策創薬総合研究事業(補助))

改革案では不十分	1人	①事業そのものを廃止
	2人	②事業の効率性を高めた上で、補助を廃止し、国で直接実施
	0人	③事業の効率性を高めた上で、補助を廃止し、自治体へ事業を移管し実施
	1人	④事業の効率性を高めた上で、他の民間法人へ補助を行い実施
	1人	⑤法人へ補助を継続するが、更なる見直しが必要(実施方法の見直し・補助金の削減など)
5人		
改革案が妥当	1人	—

<具体的な意見>

【① 事業そのものを廃止】

- ・ マッチングとは言うが、平成 21 年度の採択課題を見る限り、過半数は 1 社のみの参加であり、結局その企業に国が直接補助金を出すのと同じことになっている。人気の高いプロジェクトであれば、民間企業が(共同であれ)自前でやればよい。

【② 事業の効率性を高めた上で、補助を実施し、国で直接実施】

- ・ 公募した研究テーマを評価する「評価委員会」の運営が不透明。「評価委員会」の委員が属する企業が補助金を受けているということは、評価の公正性が担保されていない可能性がある。
- ・ 国が直接、研究テーマを選定し、資金を補助すべきと考える。
- ・ 国の医療戦略として国家事業として推進すべき。ただし、国は、既に各大手企業の研究が進んでいることから、そことの連携を一層図るべし。

【④ 事業の効率性を高めた上で、他の民間法人へ補助を行い実施】

- ・ 他の法人(基盤研)に移管すべきである。

【⑤ 法人へ補助を継続するが、更なる見直しが必要(実施方法の見直し・補助金の削減など)】

- ・ 医薬基盤研究所等、他の組織と連携してより効果が高まるような進め方を期待します。

1-② 事務・事業（ヒトゲノムテラーメイド研究推進事業・再生医療実用化研究事業（補助））

改革案では不十分	1人	①事業そのものを廃止
	2人	②事業の効率性を高めた上で、補助を廃止し、国で直接実施
	0人	③事業の効率性を高めた上で、補助を廃止し、自治体へ事業を移管し実施
	0人	④事業の効率性を高めた上で、他の民間法人へ補助を行い実施
	0人	⑤法人へ補助を継続するが、更なる見直しが必要（実施方法の見直し・補助金の削減など）
3人	0人	
改革案が妥当	3人	—

<具体的な意見>

【① 事業そのものを廃止】

- ・ そちら中で推進されている研究テーマである。この財団がやらなければならない理由が分からない。

【② 事業の効率性を高めた上で、補助を廃止し、国で直接実施】

- ・ 倫理の問題(文化・宗教)も含むのであろう、国家として対応すべき。

【改革案が妥当】

- ・ 選択と集中による研究事業の重点化に同意します。

1-③ 事務・事業（認定TLO事業（補助））

改革案では不十分  6人	2人	①事業そのものを廃止
	1人	②事業の効率性を高めた上で、他の民間法人へ補助を行い実施
	3人	③法人へ補助を継続するが、更なる見直しが必要（実施方法の見直し・補助金の削減など）
改革案が妥当 0人	—	

<具体的な意見>

【① 事業そのものを廃止】

- ・ TLO事業自体が所期の目標を達していない。
- ・ 会員企業に特典として、「特許公開前」の情報を提供するのとは、「特定の民間事業者に対し不当な差別的取扱いをしない」と定めた法律に反する行為。「特許」申請は、各研究機関で行うべきと考える。

【② 事業の効率性を高めた上で、他の民間法人へ補助を行い実施】

- ・ 当団体については公平性を高める為に、賛助会員でなくても必要に応じて提供すべし。

【③ 法人へ補助を継続するが、更なる見直しが必要（実施方法の見直し・補助金の削減など）】

- ・ さらにTLOの成果が出るような知財対象のピックアップを期待します。
- ・ もう少し成果が上がるよう仕組みの検討が必要。
- ・ 具体的にどういう成果があるのかを明示すべし。→事業は「基盤研」に移行すべし。

1-④ 事務・事業（研究資源供給事業）

改革案では不十分  4人	1人	①事業そのものを廃止
	1人	②事業を廃止し、独法で直接実施
	2人	③事業を廃止し、他の民間法人で実施
	0人	④法人で事業を継続するが、更なる見直しが必要
改革案が妥当  2人	—	

<具体的な意見>

【① 事業そのものを廃止】

- ・ 基盤研でやれば、よいのではないか。

【② 事業を廃止し、独法で直接実施】

- ・ 「政策創薬総合事業」と同様の改革が必要と考える。

【③ 事業を廃止し、他の民間法人で実施】

- ・ あまり必要性が見えてこない。直接「基盤研」が企業や関係団体に広げるべき。
- ・ 「基盤研」に移管すべし。

【改革案が妥当】

- ・ 医薬基盤研に移管し、バンク廃止に同意します。
- ・ 確実に事業を継続できるよう、厚労省は全面的にバックアップすべき。

## 2 組織・運営体制

改革案では不十分 3人	—
改革案が妥当 3人	—

### <具体的な意見>

#### 【改革案では不十分】

- ・ 補助金と賛助会員で成り立ち。会員へのみの優遇はやめるべき。
- ・ 「基盤研」と統合すべし。

#### 【改革案が妥当】

- ・ 組織の見直し努力は結構だと思う。
- ・ 前向きに検討していると感じますので、確実に推進していただきたい。
- ・ 日本全体の創薬力をさらに高めるために、組織の志と役割をより高めて、鋭意取り組んでいただきたいと思います。